



Fulcrum Osteopathy Study Group 主催セミナー

産婦人科 特別コース

講師：Philippe Druelle DO, DscO

2020年3月19 – 24日

本コースでは受講生の皆様に婦人科疾患や症状の治療の仕方、出産に備える妊婦のサポート、お母さんと赤ちゃんを楽にする分娩時と出産後のサポートについて学んでいただきます。

オステオパシーには150年程前から蓄積してきた婦人科のメソッドやテクニックがあります。オステオパス達はいくつかのタイプの不妊症、生理痛、月経不順、（再発を繰り返すタイプの）慢性膀胱炎、失禁、さまざまな炎症性疾患などを患う女性患者の苦痛を緩和してきました。また、産科の分野では、オステオパスのサポートにより妊婦が順調な妊娠経過をたどることができ、より好ましい胎位が確保され、苦痛や問題がほとんどない安産が可能です。鉗子も吸盤も使わず、帝王切開の必要性も小さく、赤ちゃんがより健やかに成長できる出産をオステオパシーで提供することができます。

本コースではオステオパシーにおける産婦人科のこれまでの歴史と新しい展開をまとめてお伝えします。

第1部 婦人科セミナー（3日間）

女性患者の評価と治療の際に扱うべき最も重要なポイントを確認するための解剖学および生理学の復習

- ・ 正常な子宮と卵巣：位置、可動性、活力
- ・ 第1、第2、第3段階の異常についての説明
- ・ 回転（version）と屈曲（flexion）の違い
- ・ 子宮頸部と峡部の合流点の位置の異常
- ・ セントラルチェーン内の神経叢、上腸間膜神経叢、下腸間膜神経叢、下腹神経叢の機能不全と関連のある疾患（循環系、不妊症、慢性炎症と関連のある機能の重要性）

- ・感染と炎症における血管分布とリンパ循環の重要性（ルイーザ・バーンズ DO による）
- ・主に T11、T12、L1、L2、L3、L4 の骨関節の病変および交感神経節の健康状態。仙骨と交感神経系と副交感神経系。女性の健康におけるこの二つの神経系の役割について。
- ・峡部のずれを伴う捻転、峡部のずれを伴わない捻転。第 1、第 2、第 3 段階。
- ・上下の垂直方向の病変。
- ・腎臓などの末梢の器官の位置異常および子宮広間膜と卵巣のなかに緊張をもたらす胎盤の病変。S 字結腸および盲腸の病変。グレナーMD、スタプファーDO による。
- ・卵巣と子宮の評価と治療
- ・子宮円靭帯（子宮円索）、子宮広間膜、仙骨子宮靭帯 +++ 膀胱子宮靭帯
- ・回転のあらゆる位置において-水平、前後逆、高低
- ・屈曲のあらゆる位置において
- ・捻転において
- ・子宮前に位置する卵巣および旋回を妨げられた卵巣
- ・峡部の逸脱 +++

まとめ

一人一人の女性患者向けの治療メソッドの組み立て方。女性のための健康管理。日常生活における保健衛生とアドバイス。患者の健康改善をどのように推進するか。

第 2 部 産科セミナー（3 日間）

3 日間にわたる第 2 部の産科セミナーでは、妊婦に妊娠期を問題なく楽に過ごしてもらうための準備、出産を成功させるための準備として必要なことを学んでいただきます。鍵の一つとなるのは予防対策です。

妊娠期の 4 段階および各段階においてオステオパスがチェック・治療すべき要素

0 か月から 3 か月半まで

筋骨格系全体およびセントラルチェーンの各構成要素が完璧な健康状態になければならない。

CO・C1・C2 の関節、後頭蓋窩、脳幹をチェック。肝臓、腎臓、心臓のチェック。

3 か月半から 5 か月半まで

内臓系が健康で、交感神経系・副交感神経系との関係が正常でなければならない。子宮が腹腔の中に達し、各器官が正常な位置にあり、可動性があり、活力がなければならない。

妊娠中の主な健康上の問題をチェック

緊急の手当を要する臨床徴候がないかをチェック

リンパ系の重要性およびリンパ系の負担を軽減するテクニック

5 か月半から 8 か月めまで

母親だけでなく胎児の健康のためにもなる施術。子宮の可動性と関連した胎児の施術を始めることができる。

胎位のチェックおよび拘束的なメカニズムがないことを確認する。

出産準備 1

横位、斜位、骨盤位の場合は、胎児を拘束的なメカニズムから解放して正常化するためにオステオパシー施術を施す。

各ケースに適切したオステオパシー・テクニックによる正常化

特に脳の全体的活動、脳の血管分布、脳のダイナミズムをはじめとする母親の頭蓋の施術
妊婦の心臓部の施術

胎位による妊婦の姿勢における子宮の様々な状態を正常化

8 か月めから出産まで

出産準備 2

上述の主な要素のチェック

三つの隔膜および特に骨盤底の解放

呼吸エクササイズ

子宮、羊膜腔、胎児の正常化

懸垂状態で緩やかな圧縮と軽い伸張を施して適度な正常化を行う。

必要に応じてオステオパスが分娩に関わる。出産を成功させるための様々な方法がある。

子宮収縮の開始が遅れている場合や子宮頸管無力症の場合は、オステオパスが介入して子宮動脈の血管新生を促進する。

A.T.スティル博士、W.G.サザーランド DO、スタプファー DO による分娩プロセスにおける羊水圧と子宮広間膜の役割

妊婦と出産後の新生児の治療のアドバイスと手引き

妊娠中および分娩中の個々のケースによるさまざまな心理的側面

A.T.スティール博士、トーマス・スクーリーDO、フィリップ・ドゥリュエル DO による分娩後の鬱の身体的原因

会陰切開術後の硬膜の病変。硬膜の治療の仕方。

セミナー中にフィリップ・ドゥリュエル DO が 2 か月以内に出産を控えている妊婦の検査と治療のデモンストレーションを行う。

まとめ

妊娠期と分娩が円滑であればあるほど、母親と新生児の健康状態が良くなる。

母親と子どもの健康のためにオステオパスが果たす役割は極めて大きい。そのための様々な治療法を紹介する。

フィリップ・ドゥリュエル DO はジャン＝ピエール・バラル DO やジャック・ヴィーシェンク DO と並んでヨーロッパで初めて産婦人科のオステオパシー治療を記述して体系化した一人です。特に子宮体と子宮頸部に対する峽部の位置による病変の治療に関する貢献をしました。

* * * * *

FOSG 主催でのドゥリュエル D.O.を招待してのセミナーは今回で九回目となります。本セミナーを受講していただくことにより、健康のメカニズムについての理解を深め、患者により効果的な治療を施すことができるようになるでしょう。

そして今回は、より深く学び受け取って頂きたいという気持ちから奥様のジュリー・サンピエール D.O. もご招待しています。ご存知のようにジュリー・サン＝ピエール D.O. は、30 年以上の経験あるオステオパスであり“患者の本質とコンタクトをとる事の大切さ”についての論文で賞を受賞し、生命へのコンタクトに関する研究を続けています。また外部の診療所でも講師として活動されており、オステオパシーの臨床応用についての豊富な知識をお持ちです。とても貴重な機会となりますので、ご参加の先生方におかれましては感覚の共有や質問などご遠慮なくしていただき、しっかりと学びを深める場にしていただけたらと思います。

講師紹介

フィリップ・ドゥリュエル DO, DScO は、その優れた業績により世界的に認められたオステオパスであり、その知識を伝授するための来日は FOSG 主催でのセミナーでは今回で九回目となります。世界に数多くの伝統的なオステオパシー大学を創設し学生の指導にあたる他、セミナー講師として複数の大陸にまたがって精力的に活動されています。オステオパシーの概念を初めて頭蓋内に応用し、脳の機能を再び活性化させる数多くのテクニックを開発してこられました。小児科学や産科学の分野でも多大な貢献を果たし、脳震盪の後遺症の緩和にも寄与されてきました。20 年以上におよぶ研究の結果もセミナーのなかで共有して下さいます。また、学生および施術者向けのオステオパシー専門書 28 冊を執筆されています。

フィリップ・ドゥリュエル D.O. が 40 年の経験に基づく知識を伝授する本セミナーへのご参加を心よりお待ちしております。



F.O.S.G.代表挨拶

Fulcrum Osteopathy Study Group で Philippe Druelle, D.O. をお招きするのは今回で九回目となります。

私が Philippe Druelle, D.O.の講義を初めて受けたのが約 17 年程前です。私が長年彼に強く心惹かれるのは技術はもちろんの事、人(患者)、生命とコンタクトする姿勢、生命に対する洞察の深さであり、また生命にコンタクトする事の重要性を情熱を持って後進に伝えていく姿勢なのだと思います。

人は単なる有機物ではなく、そこには生命があり人生を通しての痛みや葛藤の全ての履歴が含まれています。生命は画一的なものではなく、一人一人がそれぞれの人生を生きる異なった存在です。患者を尊重し、その生命にコンタクトし、その人の人生においてその生命が十分に表現できるように手助けをすること、私自身の目指しているオステオパシーがまさにそれであると感銘を受けた事を今でもよく覚えています。

その後も恩師や Philippe Druelle, D.O.をはじめ様々なドクターに学んだ事を手掛かりにしながら自ら探究を進めてきましたが、やはり 17 年以上が経過してもなお、Philippe Druelle, D.O.の人や生命、オステオパシーに対する姿勢に共鳴し続けています。

テクニックはあくまでもツールであり、オステオパシーの哲学や原理、人体の知識と統合することで応用し発展させて行く事ができます。それらはとても重要な事ですが、さらに大切なのはその非常に重要なツールを生きている人間に適応させていく事だと思います。生きている構造体には生命の発現があり外界と相互関係を築きながらそれぞれ固有の表現をしています。術者である「人間」が相手の「人間」にコンタクトを行いオステオパシーを提供する事が非常に大切であると考えています。

FOSG ではこのような考えのもと、引き続き本質へのコンタクトをより深く習得するための概念と方法を共に学んでいきたいという想いに加え、オステオパスとしてより的確に婦人科・産科領域において役立つ事が出来るようにと考え今回このテーマで開催する事を決めました。この婦人科・産科領域でオステオパスが提供出来る事はとても多く有り、母体の心身の健康やより円滑な出産を促進するのみならず、人生で一度しかない出産を最善なものに出来る事は子供のその後の人生や心身の健康状態に対して素晴らしい影響を与えると考えられています。

当セミナーは受講者がより学びを深めることができるよう参加資格を“Fulcrum の概念と臨床への適用 I”を修了された方に限定して開催し、またセミナー2 日目と 5 日目の終了後（夜間）にフォローアップのセミナーを開催します。

セミナーは 2 部構成になっており、第 1 部は婦人科、第 2 部は産科となっています。

第 1 部の婦人科では婦人科系疾患や女性特有の機能と構造に関する講義、そしてそれらを適切に評価し施術していく方法を学んでいきます。特に重要な部位として子宮体と子宮頸部に対する峽部の位置関係を理解していく事に焦点を当てます。プログラムの中に“第 1、第 2、第 3 段階”とありますが、これは病変の重症度を指しており、各器官や頭蓋骨も含め関節にも適用していくことができます。

第 1 段階は、筋、筋膜など組織レベルでの問題であり関節や骨、臓器などの変位を伴わないもの。

第2段階は関節や骨、臓器などの変位があるが軸が尊重されているので生理学的にも適応範囲内にある状態。第3段階では第2段階での病変が複雑に重なり合い、軸を失い、生理学的にも混乱をきたしている状態です。

例えば、屈曲、側屈、回旋をともなった子宮の位置を検査し正常化する作業は様々な方法がありますが、これは第2段階へのアプローチであり、それらが重なり合った第3段階での病変を検査し正常化していくことが臨床では大変重要になります。

特に子宮に対しての複雑なこの第3段階の病変の知識と評価、治療を学んでいきます。

そして第2部の産科では第1部で学んだ事を産科の領域で適応させていく事に加え、妊娠期における4つの段階においてオステオパスが母子の健康に対して最大限提供していける知識や技術を学んでいきます。

オステオパシーを提供していく上で産科や小児科領域は術者自身にとっても特に喜びや満足が大きいものですが、上記のプロセスへの知識や、より重要となる部位や技術、コンタクトの重要性など様々な具体的な物事を知り身につける事で、施術者自身が安心して自信を持って提供する事が出来るのだと思います。

この機会が先生方にとって学びの多い機会となる事を心より願っております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Fulcrum Osteopathy Study Group 代表 西山 正洋

*開催日：《婦人科セミナー》

2020年 3月19日(木) 9:30~17:30(受付9:00~)

3月20日(金・祝) 9:00~17:00

3月21日(土) 9:00~17:00

《産科セミナー》

3月22日(日) 9:00~17:00

3月23日(月) 9:00~17:00

3月24日(火) 9:00~17:00

*婦人科セミナーのみのお申し込みは可能です。産科セミナーは、婦人科セミナーを修了しなければ受講できませんので、産科セミナーのみのお申し込みは出来ません。

*セミナー内容をより深く理解し習得する事を目的としまして、**3/20(金)**と**3/23(月)**の**18:00~20:30**に、希望者のみでFOSG代表 西山によるフォローアップセミナーを実施する予定です。

フォローアップセミナーの参加費は無料となり、お申し込みは不要です。尚、フォローアップセミナーの開始および終了時間は本セミナーの終了時刻により多少前後する可能性があります。

＊参加資格：「**Fulcrum** の概念と臨床への適用 1」セミナーを修了した方

＊場所： PLP 会館 5F 大会議室

大阪府大阪市北区天神橋 3 丁目 9-27

大阪市営地下鉄堺筋線 扇町駅 4 番出口より徒歩 3 分

JR 大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩 5 分

地図：http://plp-kaikan.net/access/a_index.html

＊受講料金： 6 日間 247,500 円（受講料 225,000 円＋消費税）

婦人科セミナーのみの 3 日間 148,500 円（受講料 135,000 円＋消費税）

＊締切： セミナー開催日の 7 日前までにお申し込みください。

ただし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

＊申込み方法： 申込み用紙にご記入の上、FAX にて送付して下さい。

申込書が届きましたら、必ずこちらからお電話またはメールにて連絡させていただきます。お申込みいただいてから 3 日程経っても連絡がなければ、届いていない可能性がありますので、一度お問い合わせいただきますようお願いいたします。

＊お振込み：こちらから申込書受領のご連絡をさせていただきました後、下記の口座に受講料金をお振込みいただきますよう、お願いいたします。

お振込みいただきましたら、セミナー受講受付完了となります。

当日会場にお越しいただきましたら、受付でお名前をお伝えください。

ゆうちょ銀行

口座記号番号：00980-6-172237

口座名義：フルグラム オステオパシー スタディグループ

【他銀行からの振込みの場合】

店名（店番）〇九九（ゼロキュウキュウ）店（099）

預金種目：当座

0172237

＊お振込の控えをもちまして領収書とさせていただきます。

＊キャンセル：セミナーでは2人1組となって実技を行いますので、出来る限りキャンセルのないよう、どうぞよろしく願いいたします。

セミナー開催日の7日前より、キャンセル料が発生いたします。

キャンセル料金は下記の通りです。

7日前～前々日	セミナー料金の20%
前日	セミナー料金の50%
当日	セミナー料金の100%

＊注意事項：本セミナーは動画撮影及びデジタルカメラでの写真撮影は出来ませんのでご了承ください。尚、ご希望の方には担当スタッフが撮影したデジタルカメラの写真を有料（6日分4,000円・婦人科のみ受講の場合は2000円）にてお渡し致します。写真のお渡しは後日となります。

またセミナーには実技が出来る薄手で動きやすい服装でお越しいただくか、ご持参頂きますようお願いいたします。



〒530-0044

大阪府大阪市北区東天満 2-4-16 シャルムヒルズ南森町 1F

FAX : 06-6948-5671 お問い合わせ : info@fulcrum-osteopathy.jp

*月曜と金曜はお休みさせていただいております。